

# 平成29年度 川内中央中校区 まちづくり懇話会 答弁要旨

と き 平成29年6月13日（火）14：00～16：00  
ところ 本庁5階501会議室  
出席者 市：市長、永田副市長、知識副市長、教育長  
企画政策部長、市民福祉部長、建設部長、商工観光部長、教育部長  
都市計画課長  
地域政策課長、広報室長、外市職員  
計16名  
議員：川畑善照議員、今塩屋裕一議員、持原秀行議員、成川幸太郎議員  
4名  
地域：各地区コミュニティ協議会長をはじめとする 地区住民 63名  
（合計 83名の参加）

## 議 題

### 議題1（川内地区コミュニティ協議会）

#### 避難道路の整備について

1 冷水町内は、原電関係の車輛を含め通行量が非常に多いため、朝夕の出勤や退勤時に住民が危険にさらされており、道路もかなり傷んでいる。離合できない道路について、何らかの形で規制をしていただくことはできないか。

2 前回（平成27年）の懇話会で、県道43号から宮里体育館・宮里集会所に入る「市道宮里・北田線」の嵩上げ拡幅について要望を行った。その際、「地権者を調べた上で進めたい」との回答だったが、その後全く進んでいない。一方、両施設は緊急避難場所にもなっていることから、地区住民からの要望がますます激化している。

宮里町自治会連絡協議会において地権者を調べ、5月29日に4人の地権者に集まってもらい、状況説明を行った上で売却の同意を得たところであり、近日中にその同意書を市に提出する手はずとなっている。

これにより、課題も解消されることから、一日も早い「市道宮里・北田線」の嵩上げ、拡幅の実現をお願いしたい。

## 【建設部長】

まず、冷水地区の道路の件であるが、路面や側溝等の不具合については、これまでも随時対応をしてきている。まだ対応できていない部分については、意思確認をした上で、補修や改善に努めて参りたい。建設維持課が担当課になるので、御連絡をいただきたい。

また、離合の困難箇所や交通安全上、非常に支障のある箇所については、日程を調整して警察の交通課や公安委員会、地元立会いのもと現地調査を実施して、可能な箇所の交通規制等を要望して参りたい。

これまでも地区内で何路線か拡幅の要望等をいただいているが、住宅が道路際に隣接しており、なかなか実現に至っていない。用地の御協力がいただける箇所については、部分的な離合場所、退避所の設置は可能と考えるので、今後も協議をさせていただきたい。

宮里・北田線の改良については、これまで道路沿いの所有者に土地の提供が可能かどうかを確認させていただいていたが、先月末に同意が得られたという報告があったので、来年度測量設計に予算の調整をして参りたい。

現在、志奈尾神社から入る宮里・高原線を工事中であり、30年度で完了する予定である。その後に移行できればと考えている。

### 要望

一番危惧しているのは、議題1の1で申し上げた件である。住民は切実な状況にあり、このまま通行量が増え続けると、道路自体がもたないのではと考える。また詳細は、現地を調査していただく際に説明させていただくので、よろしく願いしたい。

### 議題2（平佐西地区コミュニティ協議会）

#### コンベンション施設建設に伴う周辺道路の整備等について

同事業がスケジュール通りに進捗した場合、来年度後半には建設が実現することになると思うが、それに伴い、次の事項について伺いたい。

- ① 工事期間中の工事車両のルートについて
- ② 工事期間中の小中高生の通学路の安全対策について
- ③ 駅東口へのアクセス道路の整備について（3号線、東郷、樋脇方面他）
- ④ 特に大型バス、大型車両の進入について

## 【企画政策部長】

①②④については企画政策部で、③については建設部で回答させていただく。

コンベンション施設については、先程市長からも説明があったが、ここで少し概要を説明させていただきたい。

コンベンション施設は、市外に流出している消費やサービスを市内に取り戻し、市内外からの新たな需要を生み、にぎわいと交流を創り出す街なか拠点施設して整備するものである。

川内駅東口の市有地約8,200㎡に、公共施設であるコンベンション施設と民間収益施設を、民間の技術やノウハウを最大限に生かすPFI方式で一体的に整備するものである。

コンベンション施設は、老朽化している川内文化ホールを統合し、会議、セミナー、演劇、展示会、コンサート、レセプションなど多様なイベントに対応するため、平土間利用、移動観覧席利用、分割利用など複数の使い方が可能となるホールや大中小の会議室、産業支援センター、市民活動支援センター、子育て支援センターなどの支援機能を付加するものである。

民間収益施設は、市有地を貸し付け、民間事業者が設計、建設、独立採算による運営を行うもので、市としてはレセプション、宿泊、飲食・ショッピング機能等、コンベンション施設との相乗効果を期待するものである。

こうした中、4月28日に事業者募集を開始した。8月末に提案を締め切り、審査を経て、今年12月には事業者を決定後、設計に着手したいと考えている。来年11月頃には建設工事に入り、平成32年4月の完成、7月の供用開始を予定している。

それでは、議題①の工事期間中の工事車両のルートについて回答したい。コンベンションの工事施工に当たっては、市と事業者で工事工程、工法及び安全管理等に関して事前協議し、施工計画書等を作成の上、工事車両の通行ルート、誘導員配置等を明確にし、厳守させることとしている。

大型の工事車両については、駅周辺の区画整理事業でも利用した県道山崎川内線から市道平佐・加治屋馬場線～市道平成通線へのルートと、国道3号から県道川内停車場（昭和通）線～市道駅前白和線～横馬場田崎線のアンダーパスを經由して川内駅東口に至る2つのルートを想定している。

②の工事期間中の小中高生の通学路の安全対策については、登校時間帯の通行禁止や速度規制（20km/h 制限等）区間の設定、誘導員の配置等、十分な安全対策を講じることとしている。

④の大型バスについては、供用開始後に運行する大型バスと思われるが、コンベンション施設へのアクセスについては、工事車両と同様、県道山崎・川内線から市道平佐・加治屋馬場線～市道平成通線へのルートと国道3号から県道川内停車場（昭和通）線～市道駅前・白和線～横馬場・田崎線アンダーパスを經由して川内駅東口に至る2つのルートを想定している。なお、イベント開催時には交通整理員の配置など事故防止等安全管理には配慮したい。

いずれにしても、約1年半にわたる長期の工事となることから、事業者が各種関連

法令、工事の安全等に関する指針を遵守することはもちろん、工事のスケジュール、工事内容等を、地区コミュニティ協議会、自治会、学校など、地域の皆さんにきちんと説明し、騒音、振動、粉塵飛散などの周辺環境への影響や搬出入車両の交通安全対策に十分に配慮し、事故等が発生しないよう万全を期して参りたいと考えている。

#### 【建設部長】

③のアクセスについてであるが、3号線については只今末永部長から説明があったとおりである。現在、駅前・白和線の春田川に架かる新地橋の架け替え工事を進めているところであり、来年の2月、3月ぐらいまでには切り替えができると考えている。横馬場田崎線との交差点信号移設、交差点処理が30年度初めにずれこむ公算が強いが、いずれにしても、本年度中には新しい橋を通れるようになると思っている。

駅東口から隈之城・高城線、平成通りということであるが、平佐・加治屋馬場線までは完成している。それから先については、昨年策定した「都市計画マスタープラン」にも基本方針を掲載している。御承知のとおり、住宅が密集していることに加え、平佐城跡の範囲にも一部当たっており、文化財調査等色々な課題があるが、実施に向けて取りかかろうとしているところである。ルートについては、都市計画決定等の関係手続きを進め、それについての検討を早急に行いたいと考えている。

今後は、地権者を含めた関係者の意見を伺いながら、経済性や効率性等について国県とも協議をして参りたい。

#### 要望（平佐麓）

2点質問したい。コンベンションホール1つで活性化につながるのか。周辺に及ぼす影響をどのように検討されているのか。平佐地区の都市計画を今後どのような形で再開発されていこうとお考えなのか、教えていただきたい。

また、向田地区は新しい町名に変わって久しいが、平佐地区についてはなされていない。今、企画政策課の方で計画されているのか、お尋ねしたい。

#### 【企画政策部長】

将来の平佐地区の都市計画についてである。だいぶ前に区画整理をしていこうと動いた時期もあったが、なかなか実現せず、先に天辰地区から入った経緯がある。しかし、今後区画整理を進めていく上で、平佐地区は良質な土地であること、駅東地区を開発していく上で一部商業地域も入ってくる可能性もあること等も展望に入れながら、市としても構想を検討していかなければならないと考えている。

町名については、中郷地区も同様であるが、区画整理事業を行った箇所は議会の議決を得て変えていく流れになっている。一方、区画整理がなされていない地区につい

では従来の町名となっている。何らかの整備を行うことで町名は変えられると考えている。

#### 【市長】

コンベンションホールを造ることによる影響とのことである。遡って申し上げると向田地区の商業が大変疲弊していたことから、活性化を図ろうと、旧市役所跡地、太陽パレス跡地、駅東口の3地区において調査を実施した。しかし当時は市に財源がなかったことから、民間で造ってもらうという案であった。その後、幸いにしてある程度の財源見込みがついたので、旧市役所跡地に複合拠点都市を造ろうということになったが、既に民間の土地に変わっていたことからなかなか話が進まなかった。また、地域的にあまり面積が広くないということもあり、やむなく断念した。太陽パレス跡地については、先に民間で開発が進められたこともあった。そうした中、東口の土地を活用して、基本的に向田地区を含めた商店街の活性化を考えていかなければならないということもあり、市と民間、それぞれが出す資金を明確化し、活性化を図ろうということになった。

一方、悪い影響も予想される。競合するような施設を造って、民間の施設を圧迫することは避けたいと思っている。これまで本市に無いような施設で、にぎわいが創出されたらいいと考えている。

#### 議題3（平佐東地区コミュニティ協議会）

##### 市街地への交通アクセスについて

- 1 市街地中心部から車で10～15分の距離にある平佐東地区だが、地区外の方は、“平佐東は遠い”と感じているらしい。天辰・楠元間の一部道路に幅の狭い区間があるのが原因の一つのようである。行政的に難しい面も多々あると思うが、県道山崎・川内線の早期整備をお願いしたい。
- 2 また、平佐西地区から平佐東小学校へ、平佐東地区から川内中央中学校へ、合計20名以上の小、中学生が通学している。登下校の事故、防犯の観点からもスクールバスを運行していただきたい。

#### 【建設部長】

県道山崎・川内線の早期整備をということであり、これまでも県へ要望が出されている箇所である。

天辰地区の土地区画整理事業と一体的に整備を行っている箇所であり、天辰第一地

区内については、三堂の川内川河川事務所出張所付近までは整備がされている。そこから先の天辰馬場、また白浜側からは整備がされてきて、旧宮之城線の皿山踏切付近まではできている。御指摘の区間については、今年度から始まる第二地区土地地区画整理事業の中で整備をしていくことになっている。

これについては、川内川の引堤工事に合わせた整備となっている。できるだけ優先した形で進めたいところではあるが、家屋移転等が伴い、現時点でいつ頃までとは申し上げられないので、御理解をいただきたい。

#### 【教育部長】

現在運行しているスクールバスについては、小中学校の統廃合により、やむを得ず児童生徒が遠距離通学をしなければならない場合、その通学の支援と位置付けて市の方で運行している。

平佐東小学校区から川内中央中学校への通学は11名いると把握しているが、これについては川内東中学校の廃校に伴い、支援を始めたところである。この地域では鹿兒島交通という民間バスが路線バスを運行していることから、通学にはこのバスを利用いただき、そのバスの定期券代を全額市が支援しているところである。また、様々な行事等でこのバスを利用できない場合は、市がジャンボタクシー等を借り上げて送迎することで対応している。

また、平佐西小学校区から平佐東小学校への児童の通学については、平成26年度から指定学校の弾力化制度を実施している。これは保護者や児童の希望を前提としており、自力通学を条件として認めている制度であり、7名がこれを利用しているところである。家庭の事情等で特別に認めている校区外通学は他にもあるが、全て同様の取扱いとしていることから、スクールバスの運行は考えていないので、御理解を賜りたい。

## その他意見・要望

### 要望（川内地区）

現在、川内小学校に宮里から約120名、川内中央中学校に約50名の子どもたちが通学している。向田側から母合橋を通り過ぎたところは、右側に大きくカーブしており、そこに人家がある。そのため、特に自転車による通学は危険を伴う箇所となっている。地権者等の課題もあると聞いているが、事故が起こる前に何とか整備していただきたい。

#### 【建設部長】

場所や現状は承知しているが、その経緯については詳細に把握していないので、県道を管理している北薩地域振興局に問い合わせ、再度協議させていただきたい。

### 要望（平佐西地区）

家が建っている箇所に道路の拡幅工事等がかかってくる場合、色々な意味で大変だと考える。例えば、家を新築する場合等に、市に間に入っていただくことで建築を控えさせる等が可能になるのではないかと。道路敷地としてあらかじめ確保することができないかを検討いただきたい。

#### 【建設部長】

これについては、都市計画決定等、法律であらかじめ計画を示されている箇所については規制が効くが、個人の場合、建築許可の範囲で許可が下りていくので、市の方からそうしたことを言える立場にはない。したがって、その集落、近辺の方で申し合わせをされた上で、道路の新設、改良の要望をいただけたら市でも検討していけるのではと考える。

### 要望（川内地区）

本市は「原電のまち」と言われて久しいが、春田川周辺（旧太陽パレス跡地付近）は夜になると真っ暗になり、安心・安全面で不安を抱いている。ぜひ、街路灯を設置していただきたい。

また、山形屋前に誰でもくつろげる場所がある。ただ弁当を食べたいと思っても、この場所はいつも学生でいっぱいなので、ゆっくり静かにご飯を食べられる場所が他にもほしい。

#### 【企画政策部長】

まちの中が暗いとのことである。地域で防犯灯を設置される場合は、市の助成制度があるので、まずそれを活用していただきたい。また、白熱灯よりLEDの方が明るく、電気料も安価であるということで、市でもLEDを推奨している。これも含めて自治会の方で検討いただきたい。

#### 【商工観光部長】

もう1点のくつろげる場所は、「まちあいサロン」のことであると思う。そうした場所がもう1箇所ぐらいほしいとの要望であるが、リブンプラスという有料のフリースペースもある。また、弁当を飲食店の食事に変えるなど、方法は色々考えられる。具体的な内容になるため、また個別に相談させていただきたい。

#### 要 望 （平佐西地区）

平佐西地区で芝ざくら推進事業を進めて2年目になる。1年目は市から30万円いただき、きれいな花が咲いた。2年目は市から補助がいただけなかったもので、他から工面して実施しているが非常に評判がいい。ぜひ、市長にも一度見ていただきたい。

鹿児島国体に向けて範囲を広げたいと思っている。また、近いうちに要望に伺うことになるかと思うので、快く予算を付けていただきたい。

#### 【市長】

芝ざくら街道ということで大事にさせていただけたら有り難い。肥料代等の経費については、制度もあるので活用していただきたい。

#### 要 望 （川畑議員）

現在、川内川工事事務所と渡唐口から新幹線の堤防沿いの道路の法面に桜を5、60本植えようと取り掛かっているところである。概ね工事事務所の了解も得ており、図面も出来上がっている。この後の環境整備の問題等も出てくると思うので、あまり地域の負担にならないように御配慮いただきたい。

#### 要 望 （平佐西地区）

今朝、天大橋の下で追突事故があった。県道山崎線、今芝ざくらを植えている場所であるが、東郷方面に向かう際、アーチ電器から50mほどしか先が見えず、信号もない。見晴らしが悪いということで、1年に3回ぐらい事故が起きているので、改善の検討をお願いしたい。



#### 【建設部長】

県道と市道の管理ということで、早速、警察の交通課にも出向きたい。また、現地において説明をいただきたい。

#### 要 望 （平佐西地区）

一つは高齢者介護コーディネート事業についてである。48地区のうち14地区が、事業を受託しており、当地区も事業を行っている。今後、他の地区にも広げていく見込みがあるのか。また、当地区は現在170万円ほど補助金をいただいているが、これを一部削減しようという動きもあるようである。そこで、今後経費助成の見込みについても伺いたい。

次にサロン事業のことである、当地区には25のサロンが立ち上がっており、多いところは20万円くらいの助成金もいただいております、有り難く思っている。ただ、今の見通しでは4年後に0になるとの説明を受けている。最小限度の助成金は継続していただくよう、社協を通じて強く要望を行っているところであるが、社協等もなかなか首を縦に振ってくれない状況等もあるので、ぜひ検討をお願いしたい。

同じく、元気度アップカードについてであるが、ほとんどの事業がその対象となっており、年度半ばで50ポイントをゲットする高齢者が大半である。地区の意見交換の中で、50ポイントを100ポイント等に増やすことができないかとの声もあったので、検討いただきたい。

#### 【市民福祉部長】

実施している高齢者介護コーディネート事業、サロン事業、元気度アップ事業については、介護予防の枠の中で知恵を出し合いながら、展開しているところである。

今年度事業において、第7期の介護保険事業計画を策定しようとしているところである。この中で、どこにどれだけの効果が出ているのか考察しながら、事業全体の中で各々整理をさせていただきたいと考えている。

元気度アップ事業のポイントの件についても、本来高齢者等の介護予防、心身の健康の保持・増進を図ることを目的としているので、その効果を見ながら対応していきたい。

いずれにしても、この3事業については、地域の皆様の理解と協力を得て事業を展開するべきものである。今後どのような形で進めていくかについては、社協を含めた関係者で協議・調整を進めたいと考えているので、明確な回答ができるまでしばらく時間をいただきたい。

### 要 望 （平佐西地区）

中央公民館が本の貸し出しを行っているが、本を読むスペースが狭い。佐賀県だったかと思うが、開放的な空間の中で本が読めるという施設の紹介がテレビであった。本市にもせつかくコンベンションホールができるので、その中に図書館の機能を備えた施設を作っていただきたい。

#### 【知識副市長】

コンベンションの中に何を入れるかについては、大ホールをメインに考えている。その他、会議室とか子育て支援センター、産業支援センター、そういうものを含めて、人が集まりやすいような施設にしたいと思っている。

今、図書館についてご提案いただいたが、お話された場所は、佐賀県の武雄市のことである。こうしたコーヒーショップと図書館と本屋が一体となった施設があるということは承知しているが、本市のコンベンションに図書館を入れるとなった場合、総床面積自体が大きくなり過ぎてしまうことから、現段階では厳しいと考える。今想定しているのは約6千㎡、1,800坪ぐらいであり、これが可能となる事業費の上限である。

平成22年に実施したアンケート等で、最低限必要なものは「コンベンション」施設とのことだった。維持管理等もあることから、今回、37億円が限度であろうと考えているので御理解いただきたい。ただ、提出期限の8月末まで、どんなアイデアが出てくるかは未知数であり期待しているところでもある。その後審査を行い、妥当と思われる方と交渉していきたいと考えている。

### 要 望 （平佐東地区）

先程、人口減少のことを市長も言われた。一般の方に補助を出して本市に住んでいただく案はないか。

また、行政の立場から見た当地区の在り方等の考えがあれば教えていただきたい。

本日は市議会議員にも4名参加をいただいている。この川内中央中校区に対するそれぞれのビジョンを聞かせていただきたい。

#### 【企画政策部長】

定期券については、市外から薩摩川内市に転入されて本市から鹿児島市や出水市に新幹線を使って通勤される大人の方に対し、新幹線の定期券の補助を行っている。

また、この4月から市内の中学生、高校生を対象に公共交通機関あるいはスクールバスを利用される場合の定期券に対し、半額の助成制度を始めたところである。

#### 【教育長】

今後の平佐東はどうあるべきかについて、学校を中心にお話させていただきたい。平佐東は児童数が22名、うち地元が15名ということで、1学年1、2名のところもある。そうした中できちんとした学習ができるかということで、そろそろ統合した方がいいということ、7、8年前から言い続けてきた。その方向で動きつつあったが、もうしばらく地域活性化に取り組みたいとのことで待ったがかかり、今見守っている段階である。今年か来年当たり、あらためて地区の考えが示されると考えている。

本市でも、これまで学校の統廃合等をだいぶ進めてきており、19校が閉校した。ほとんどが10名前後の学校であり、「複式学級でなければ子どもを通わせたい」「家をつくりたい」という声がたくさんあった。閉校した結果、逆に西方では児童数が増えてきている。東郷も今年3月に閉校したが、義務教育学校ができるということで、やはり増加傾向にある。閉校することで、逆に地域の活性化につながっていると考えられる。

平佐東地区は、個人的にも非常に住みやすい場所だと思っているが、残念ながら、複式学級で子どもを学ばせなければならない現状がある。平佐西小学校に通うということができれば、「土地も安いし、空気もおいしい平佐東に帰ってこよう」という人が増えるのではないかと考える。この際ぜひ、学校再編について考えていただきたいと、この前地区コミ会長会議でも申し上げたところである。教育委員会としてはそうした展望も考えているが、飽くまでも地域の方々に検討していただくのが筋だと思っているので、手順は大事にして参りたい。

#### 【広報室長】

もう1点であるが、市議会議員の皆さんには本日来賓という立場で参加いただいている。議員の皆さんが地域を回られて、地域から色々話を聞かれる機会も計画されているので、その際に議員のビジョンについて確認いただきたい。この場では割愛させていただきますので御理解賜りたい。

#### 要 望 （平佐東地区）

本市ではコンベンション事業等、いくつかの大きな事業が進んでいる。このコンベンション施設の中に多くの民間施設を導入するとなっている。御承知のとおり、向田の商店街はほとんど人が通らない状況である。コンベンションができると、更に人がそちらの方に流れるのではと懸念している。既にゴールド集落も出てきており、このまま向田・大小路商店街は寂れていく一方であると思うが、この問題を市としてどのように考えておられるのか。

## 【市 長】

御指摘の点について、まず概要を説明させていただきたい。

確かに、旧川内市の発展は向田地区から広がっていった。大小路地区でお分かりいただけるように、まずこちらが疲弊していき、残念ながら向田も現状に至っている。これは、大型店舗がどんどん入ってきたというのが大きな要因と考える。それに加え、少子高齢化対策が遅れたということで、買い物に訪れる人が少なくなった。また、車社会になり、遠方まで出掛けることが可能になったということが挙げられる。

したがって、人をどう呼び寄せればいいのかということ念頭に、市の方でも懸命に制度をつくり、また観光物産協会においても商店街の活性化に取り組んでいる。その中で、地元の人たちがどのようなまちにしたいかというのが最も重要だと考えている。

シャッターを閉める場合も、他の人に貸すという自主的な対応をしていただけたら有難いが、これもなかなか難しいということがシャッター街になった一因と考えている。

今回のコンベンション施設については、後にどのような影響が出るかわからないが、できるだけ東口に来られた人たちが向田通りにも足を運ぶようなしくみづくりを考えなければならない。今のところ、全体像が見えないというのが実情である。ただ、地元の人たちが原点にかえて、みんなが儲かる方法を考えていかなければ最終的に活性化にはつながらないと考えているので、市としてもそれに向け、努力していきたい。

### 要 望 （平佐西地区）

市長にお願いである。男子バレー、女子バレーを始め、多岐にわたるスポーツの誘致を積極的に展開されている。

今回、コンベンションホールができ、買い物と宿泊がポイントであるという話が冒頭でも出たところである。若者が集えるような場所をつくっていただき、アピールをしていただきたい。

## 【市 長】

御指摘、感謝申し上げます。関係協会を含め、市も対策を講じている。確かに、他の団体に比べて、はるかに本市は全国レベルの方々に多く合宿にきていただいている。鹿児島国体も控えているので、これまでにはまだまだ増やしていかなければと考えている。これに見合った宿泊所や宴会場所がないということであるが、市も民間と競合しないように合宿所を設置しており、大変喜ばれている。この点についてもまだまだアピールをしていかなければならないと考えている。また、レベルの高い選手たちが来ることで実際にその競技を見る機会ができ、本市の子どもたちの成長にもつながるという利点もある。引き続き、アピールしていきたい。

また、外国人旅行者8人が1泊、あるいは1人が8泊した場合、定住人口1人分の

経済効果があるとの観光庁の調査結果が出ている。観光人口を増やすことが市民の所得を潤すと考えているので、これに関しても努力していきたい。

これまで亜細亜大学の野球チームが本市に泊まって始良でキャンプを行っていた。今年は本市でキャンプを行っており、これからも引き続き、来ていただけるとのことであった。これにより九州管内のチームも練習試合に本市を訪れることが期待されるので、進めて参りたい。

#### 【商工観光部長】

商工観光部でスポーツも担当している。合宿人数を今1万人以上にしようということで営業している。施設面では問題ないが、やはり宿泊施設のレベルが課題である。地元のホテル事業者の方と一緒に営業して参りたい。

もう一つ、アピールが足りないという点であるが、合宿中の情報がなかなか市民に浸透できないということがある。こうした話題を、FMさつませんだいやスマートフォンを活用して情報提供できないか等について検討しているところである。また、スポーツだけではなく、イベントや暮らしの情報等も発信していきたいと考えているので、行き届かない点についてはどんどん御指摘いただきたい。

#### 要 望 （平佐西地区）

関連して、バレーボールの紅白試合等を無料で観戦できるようにできないか。

#### 【商工観光部長】

バレーボールの紅白試合については、バレーボール協会の活動資金につながったりしており、なかなか難しい面がある。

また、「その分を市の負担で」という意見もあると思うが、今のところ、ある程度負担いただくということで実施しているので、御理解を賜りたい。

#### 要 望 （平佐西地区）

以前は、ガラス張りの川内駅構内から外の風景が眺められたが、今は木柵のブース等がいくつも設置してあり、ほとんど見えなくなっている。駅に下り立った方からも残念だとの声をよく聞く。何とか対処していただけないか。

#### 【商工観光部長】

駅の改札口を出たところの通路に、緑の木柵で囲ったミニ図書館等がある。備品等を置いている関係で時間帯によっては閉めているため、外の風景が見えなくなってしまう状況がある。

現場を確認しながら、管理している業者さんたちと意見交換を行い、策を講じたい。